

GT

学連だより

no.01
2013.7



第17回全国学生技術コンテスト ヘアカットの部 制作風景

原点を大切に

毛髪研究家
学連アカデミック・アドバイザー

八木原陽一



Q.毛髪研究家のお立場から、現在の理美容に対して思われるところをお述べ頂けますか。

A.理美容に携わる方々は、いつの時代も美意識が非常に高く、学連主催のコンテストを拝見してもわかるように、最近のヘアスタイル、カラー、ネイルなどの技術も申し分ないほどに進歩しています。しかし一方、お客様の毛髪の悩みに対応できるような知識をすべての理美容師さんが持っているかという点、決してそうではないような気がします。一昔前までは、髪が傷んだと言えば、男性は理容室へ、女性は美容室に相談していました。理美容師さんもプロとして結構それに応じられる知識を持って対応していましたが、最近では、美への追及だけに走り、毛髪自体の勉強が多少疎かになっているのではないかと危惧致しております。

Q.髪の悩みはどこに相談するのでしょうか。

A.医学の進歩、細分化により、皮膚科に今まで存在しなかった毛髪外来という分野ができ、毛髪の悩みの相談に応じる体制が医療の分野に整ってきてはおります。しかし、お客様の側からすると、やはり普段から馴染みのサロンでまずは相談にのってもらいたいと思われるのではないのでしょうか。にもかかわらず、脱毛、細毛の原因を聞いても、毛髪のために良い食事の指導すら満足に出来ない知識不足の理美容師さんが増えていることは否めないと考えます。

Q.髪の悩みは増えているのでしょうか。

A.はい、とても増えております。先日も公益社団法人日本毛髪科

学協会の講演会で、一部の毛髪外来の医師から、毛髪の悩みを持つ方々の相談にとっても対応しきれないので、理容師、美容師さんに正しい毛髪の知識を持って頂き、医療機関に来る以前の対応をしていただきたいとの申し出がございました。

Q.知識を深めるにはどうしたら良いでしょうか。

A.学校でも皮膚科学や化学の授業がありますが、それを補うものとして副読本での勉強をお勧めします。

Q.先生はこれまで『ヘア・サイエンス』（共著）『誰もが知りたい毛髪のひみつ』などの学術書を多く出版されていますね。

A.はい。その中でも『毛髪の科学と診断』は、社団法人日本皮膚科学会で発表された最新の発毛理論まで分かりやすく記載し、サロンに於けるQ&Aも多く載せ、きわめて実用向けに書かれています。私が理容師、美容師さんの社会的地位の向上を掲げ、人生の大半の50年を費やして書き上げたものです。理容師、美容師さんを目指す学生さんをはじめ、現役のサロンに立つ理容師、美容師の方々に役立つ最適な書として、社団法人全国理容美容学校連盟佐々木健雄理事長からも御墨付きを頂戴致し、先般全国297の理容、美容学校さんに送らせて頂きました。

理容師、美容師教育の原点を大切に、毛髪自体に就いての構造、生理、物理・化学的性質、栄養、簡単な診断（医師の診断ではなくチェック）のさらなる教育を、本書によりお勧め頂きたいと存じます

Q.髪に対する理美容師の役割と責任を再認識いたしました。

A.毛髪に対する知識を少しでも深めて頂き、健やかで美しい髪を提供し、ヘアサロンへいらっしゃる方々を心から喜ばせてあげて頂きたいと思っております。

●インフォメーション 平成25年7月9日(火)18時55分～
NHK教育テレビ「Rの法則」出演予定。

毛髪の科学と診断 <第4版>

八木原陽一著
A5判 128頁
定価1,890円（本体1,800円）

好評
発売中



2012年11月発行
薬事日報社 発行
TEL03-3862-2141
<http://www.yakuji.co.jp/>

【内容】

毛髪の構造や生理、物理的・科学的性質など毛髪に関する正しい知識とともに、脱毛症や毛幹の異常、毛髪の損傷などトラブルへの対応等について解説しています。各種頭髪用化粧品の特徴や脱毛、白髪、フケ、枝毛等の悩みに答えるQ&Aも充実しており、理容美容専門学校、ドラッグストア、一般の方にもお薦めの1冊です。

<目次>

- 第1章 身近な疑問Q&A 第2章 毛髪の構造
- 第3章 毛髪の生理 第4章 毛髪の物理的・化学的性質
- 第5章 一般的な脱毛症 第6章 毛幹の異常
- 第7章 毛髪の損傷 第8章 頭髪用化粧品
- 第9章 毛髪の診断 第10章 ヘアケアと毛髪の栄養

進学後、はじめてのひとり暮らしをする皆さんへ

学生会館「ドミ」には 安心があります。

ひとり暮らしの不安や不便を少しでも軽減したいから、学生会館「ドミ」は、さまざまな「安心」で充実した学生生活をレポートします。



朝夕2食付きの学生会館

株式会社 共立メテナリス

〒112-8221 東京都千代田区外神田2-18-3
学生会館事務局 ☎0120-88-1030

詳しくはこちらから
www.gakuseikaikan.com

共立の学生会館 検索

首都圏/札幌/仙台/名古屋/関西(京都・大阪・神戸・奈良・兵庫)/九州(福岡・熊本)

学連だより no.01 2013年7月発行

発行：社団法人 全国理容美容学校連盟 東京都豊島区千早1-28-9 1階 〒171-0044 Tel.03-5926-8971 FAX.03-5926-8970
e-mail : info@gakuren.or.jp URL : <http://gakuren.or.jp/> 郵便振替 00170-2-764365



社団法人全国理容美容学校連盟
理事長 佐々木健雄

当連盟は1971年(昭和46年)、現在の文部科学省認可の社団法人として設立されました。現在は美容師国家試験(筆記)の全国模擬試験、成績優秀者に対する学生表彰を始め秋の全国学生技術コンテストの主催を中心に活動しております。

当連盟のコンテストは現場の先生方がコンテスト委員会を運営し、学校教育の延長として実施しているものです。

加盟校の新入生の皆さんは新学期から四ヶ月が経ち、学校生活を軌道に乗せてきている頃でしょう。また、コンテスト出場予定者は本番に向けての精進を始めている頃だとも思います。

このような当連盟の活動を加盟校の会員、学生の皆様により深く知って頂くため、この度会報を発行する運びとなりました。

今回の会報では杉本泰子大会委員長と大竹政義資生堂美容技術専門学校校長にご登壇頂き、コンテストの事を中心に二人の対談記事を掲載させて頂きました。

現在当連盟は来年度4月に向けて、一般社団法人全国理容美容学校連盟への移行を申請中でございます。一般社団法人に移行後も理美容師養成施設における資格取得の場にとどまらない学校教育、人間教育の場として個々の学生の能力、人間性を伸ばす学校に協力することが連盟の使命、役割と考えております。

平成25年度学連スケジュール

- 6月27日(木) 定時社員総会
- 7月上旬 学連だよりno.1発行
- 10月31日(木) 第18回全国学生技術コンテスト開催
場所 品川区民センター「きゅりあん」
- 第1部 ワインディングの部 1年生の部
- 第2部 ワインディングの部 2年生の部
- 第3部 ヘアカットの部
- 第4部 アップスタイルの部
- 第5部 ヘアデッサンの部
- 第6部 ネイルの部
- その他 ネイルアートミュージアム (作品展示)
- 11月中旬 秋の全国模擬試験
- 11月 定時社員総会
- 12月中旬 学連だよりno.2発行
- 平成26年2月上旬 冬の全国模擬試験
- 3月 学生表彰
各校推薦の成績優秀者及び学内コンテストの優秀者に卒業時に学連理事長表彰
- 4月1日 一般社団法人 全国理容美容学校連盟に移行予定

社団法人 全国理容美容学校連盟 加盟校および賛助会員

- | | | |
|-------------------|------------------|----------------------|
| 北海道美容専門学校 | 資生堂美容技術専門学校 | 松本理容美容専門学校 |
| 札幌ビューティーアート専門学校 | ハリウッドビューティ専門学校 | 長野理容美容専門学校 |
| 仙台ヘアメイク専門学校 | 東京ヘアメイク専門学校 | 静岡服飾美容専門学校 |
| 盛岡ヘアメイク専門学校 | 東京美容専門学校 | 名古屋ビューティーアート専門学校 |
| ユニバーサルビューティーカレッジ | 早稲田美容専門学校 | 専門学校 富山ビューティーカレッジ |
| パリ総合美容専門学校 柏校 | ミス・パリ ビューティ専門学校 | 関西美容専門学校 |
| グルノーブル美容専門学校 | 専門学校エビスビューティカレッジ | アイム・キンキ理容美容専門学校 |
| 日本美容専門学校 | 窪田理容美容専門学校 | 姫路理容美容専門学校 |
| 東京文化美容専門学校 | 東京ビューティーアート専門学校 | 穴吹ビューティ専門学校 |
| 東京マックス美容専門学校 | タカラ美容専門学校 | 専門学校 穴吹デザインビューティカレッジ |
| 住田美容専門学校 | 鎌倉早見美容芸術専門学校 | 専修学校 麻生ビューティーカレッジ |
| 国際文化理容美容専門学校 渋谷校 | 横浜ビューティーアート専門学校 | 福岡ビューティーアート専門学校 |
| 国際文化理容美容専門学校 国分寺校 | 新潟理容美容専門学校 | 福岡南美容専門学校 |
| マリールイズ美容専門学校 | クリア ヘアモード専門学校 | 琉美インターナショナルビューティカレッジ |
| 高山美容専門学校 | 国際ビューティモード専門学校 | |

■賛助会員 株式会社共立メンテナンス

学連の活動をサポートして下さる、法人・個人の賛助会員を募集しています。

学連だよりインタビュー vol.1

対談 杉本泰子氏×大竹政義氏

学連主催「全国学生技術コンテスト」大会委員長の杉本泰子氏と、資生堂美容技術専門学校校長の大竹政義氏に、コンテストの中心をお話頂きました。

学連コンテストのなりたち

大竹 杉本先生、学連のコンテストは今年で何回目になりますか？

杉本 十八回目です。

大竹 それでは学生参加のコンテストでは老舗ですね。

杉本 そう言われればそうですね。初めは十数校で始めたのですよ。

大竹 お恥ずかしいのですが私は二〇〇六年に副校長として赴任してからこのコンテストを知りました。教職員から優秀な学生同士が競うレベルの高いものと言われ、学連コンテストを認識するようになりました。杉本先生がコンテスト立ち上げの労を取られたと伺いましたが。

杉本 初めは私たち、学連の中に編集委員というものを組織して主に本の出版をやっていたのです。当初は

学校内のコンテストにとどまっていたのですが、学校間で競い合う場があっても良いのでは、という意見もあって編集委員のメンバーが中心になり始めました。まさかこんな大きな大会になるとは思わなかったです。

大竹 今はネイルもあります、当初競技数はどのくらいだったのですか。

杉本 ワインディングだけを佐々木学園ホールで始めたの。そのあと競技も人数も増えてアミノのホールを借りてから、今の品川区の『きゅりあん』に至っています。

大竹 私は東京体育館のを観ました。

杉本 あそこはキャバが広いので、また何かのきっかけがあればやってみたいけど、今年も東京マックス美容専門学校さんのご協力を頂いて、『きゅりあん』でやります。



人として人を彩る

大竹 学生は今コンテストに向けて本当に頑張っていますね。私の時代は一年制の時代でしたから、コンテストには卒業後、資生堂に入ってから出場しました。

杉本 私ももう数十年も前の事ですがお店に入ってからコンテストに出ました。駆け出しの頃は下手で下手で、悔しかったけど、店のオーナーからその悔しさがあればいつか上位に入れると言われて頑張ったの。最後は上位に入ったわ。(笑)

私のことより、せっかく世界のマサ大竹が目の前にいるのだからヘア&メイクのお話を聞かせて下さいよ。

大竹 (笑) 杉本先生だって桂由美さんと一緒に随分ヘアメイクの撮影を



杉本 大竹校長は若い頃は画家を目指していたのよね。

大竹 そんな昔の話はやめてくださいよ。(笑)でも確かにデッサンは理美容師としてお客様のスタイルを作るうえで大切な作業ですし、私も大きなステージの時には必ずラフなイメージ画は描くようにしています。おっしゃるとおり高校時代は美大志望だったので、石膏デッサンに取り組んだことが今の私の財産になっていると思います。しかし、現在の学校のカリキュラムでは全員の学生がデッサンのための時間を取ることが難しいですね。ただ、学連のコンテストでもデッサンの部門があるように、興味のある学生にはデッサンの授業を選択できるようにすることは将来の糧になると思います。

杉本 私は今でも美容界美術家クラブに所属して絵を描いて展覧会にも出展しています。興味があれば社会人



高校美術部時代の大竹氏

おやりになっていたと聞いてますよ。

杉本 その頃は、オールビュティ、新美容、百日草、女性モードなどの撮影の仕事をしていただけで、そういった美容雑誌が社会に美容というジャンルを浸透させる役割を担っていたと思うのね。でも、大竹先生と一緒にされるのは恥ずかしいわ。(笑)

大竹 確かに今ではヘアメイクアーティストなどといわれていますが、私の仕事はあくまでもサロンワークの延長であると思っています。今は学校の校長ですが私の本職は美容師。美容師とは、撮影であってもショーであつても芸術品を作る事が仕事ではない。また、技術だけを追いかけるとはなく、人として人をどう彩るか、ということから離れてしまつてはあり得ないと思います。人の気持ちを探し、その人を活かす輝かせるにはこちらにも「人間力」が必要です。また、感性や技術を磨く一方で、当たり前の事を当たり前にできる人間でなくてはならないと思っています。

学連 大竹先生の美への感性は何によって磨かれたのですか。

大竹 私は卒業後、資生堂という会社になつても絵を描く機会があることを、若い人達に覚えておいて頂きたいわ。

学生・先生の貴重な財産に

杉本 ところで大竹校長、学連のコンテスト作品を観ていかが思われますか。

大竹 ワインディングにしてもアップにしても素晴らしいものを創っていると思います。これは審査員の先生がしっかりと目で長年採点してこられた賜物だと思えます。コンテストはよく、「何々スタイルを作ると上位に入れる」といったような事が言われていますが、そのようなスタイル観で採点しないようにすることはそのコンテストが発展していくにはとても大事です。そのことを各審査員の方々が再認識された上で、それぞれの感性で審査に臨んで頂きたいと思えます。特に学連のコンテストは結果を出すことも大切ですが、学生という柔軟性のある時代に真剣勝負ができたという体験が、何にも増して彼らの将来の力となつてくれると信じております。

それにしても現場の先生はお忙しい中、コンテスト委員会を構成して当日も皆さん手弁当で働いて下さっているの、頭の下がる思いです。

杉本 学連の活動というのとはとも

に入社したため、外の有名な研究会や他に習いに行くことは出来なかったの、コンテストの上位作品を見たり、外国のファッション誌を良く見て勉強しました。完璧な環境に身を置くことなどなかなか出来ないけれどその中で、出来る範囲で自分磨きをする

天才なんていない

学連 大竹先生の20代の頃のお話を聞かせて下さい。

大竹 私は資生堂に入ってから直ぐの時代に初めてコンテストに出場しましたが、最初は要領も何もまったく分からず箸にも棒にもかからなかった。自分の頭の中で思い描き、出来るつもりになっていたことを会場で実際にやってみてはじめて出来ない事に気づき、そのギャップに愕然としました。今のよう情報もあまりない時代でしたから、コンテストに足を運び人のやっていることを目で見て盗んで研究しました。そうするうちに上位に入れるようになり、25歳の時にI.B.S.日本主催ヘアコンテスト全日本決勝大会で優勝し、翌年日本チャンピオンとしてニューヨークへ行くことになったのです。もちろんコンテストが全てではありませんが、他人の評価をもらえることが自信につながり、また次の課題もできるという点では、

大竹 杉本先生は本当に凄いですね。

杉本 ありがとうございます。(笑)



と、われわれ現場にいた教師たちが作り上げていったものなので、これからの若い先生方も同じように臆することなく意見を述べ、活動を発展させていってほしいと思います。

大竹 私もこのようなビックイベントに参加することが学生の財産になるだけでなく、先生方にとつても貴重な財産になるということを強く申し上げたいです。

学連 本日はお忙しい中、両先生ともありがとうございます。

大竹 今日美容界の大先輩とお話しできて嬉しかったです！

杉本 私もマサさんとはお目にかかる機会が多いけれど、こうして学連のことをじっくりお話できて嬉しかったです。

ことが大切だと若い人達にも分かってもらいたい。また、良いもの、一流のものを見て、見る目を養うことはとても大切です。美容学校では小さななければならぬカリキュラムがたくさんありますが、感性教育にルールはないと思います。

学生時代に学連のコンテストなどの自分を試す機会がある今の学生は恵まれていると思いますよ。とにかく学生には「トライしないと次にいけないから頑張りなさい」と、いつも言っています。

芸術の世界には確かにピカソみたいな天才はいますが、美容の世界には生まれながらの天才なんていないと思う。私自身もこの20〜25歳の凝縮した5年間が今の私の全てのベースになっていると言えますし、今でもそれをもとに仕事や指導が出来ているのだと断言できます。

杉本 コンテストで上位に入る事はもちろん大事だけれど、普段の日常とは違う世界に自分を置くことが出来るのがコンテストの良さだと思います。

大竹 それは私も同感です。

対談者プロフィール

大竹政義 (おたけまさよし)



1948年 新潟県生まれ。三条高校卒業。資生堂美容学校卒業後、1969年(株)資生堂入社。
1973年 11月I.B.S.日本主催ヘアコンテスト全日本決勝大会優勝、翌年3月日本チャンピオンとして世界大会出場。
1976年 日本人初のパリコレクションへの参加。
1999年 東京都優秀技能者知事賞受賞。
2004年 インターコワフェル(ICC)褒章「シユバリエ・コマンダー」受章。「卓越した技能者現代の名工」受章。
2008年 「黄綬褒章」受章。
(株)資生堂 ビューティクリエーション研究所長を経て、現在、資生堂美容技術専門学校校長。日本ヘアデザイン協会副理事長。
著書「MAKE-UP BEAUTY」株式会社女性モード社「日本の美登家たちマサ大竹」新美容出版株式会社 他

杉本泰子 (すぎもとたいこ)



文化高等女学校(現、文化学院)卒業。山野美容学校卒業、銀座ハセベ美容室入店
1952年 杉本美容室開店
東京文化美容専門学校、東京マックス美容専門学校の設立にかかわる。東京文化美容専門学校顧問
1957年 日本ヘアデザイン協会入会
全国理容美容学校連盟編纂委員として理美容の科学、美容技術理論「マナー読本」の編集に参加
1973年 東京都各種学校協会第九種校部会委員
1989年 厚生大臣賞受賞
現在、学連常任理事、大会委員長。日本ヘアデザイン協会東日本地区委員。美容界美術家クラブ常任理事

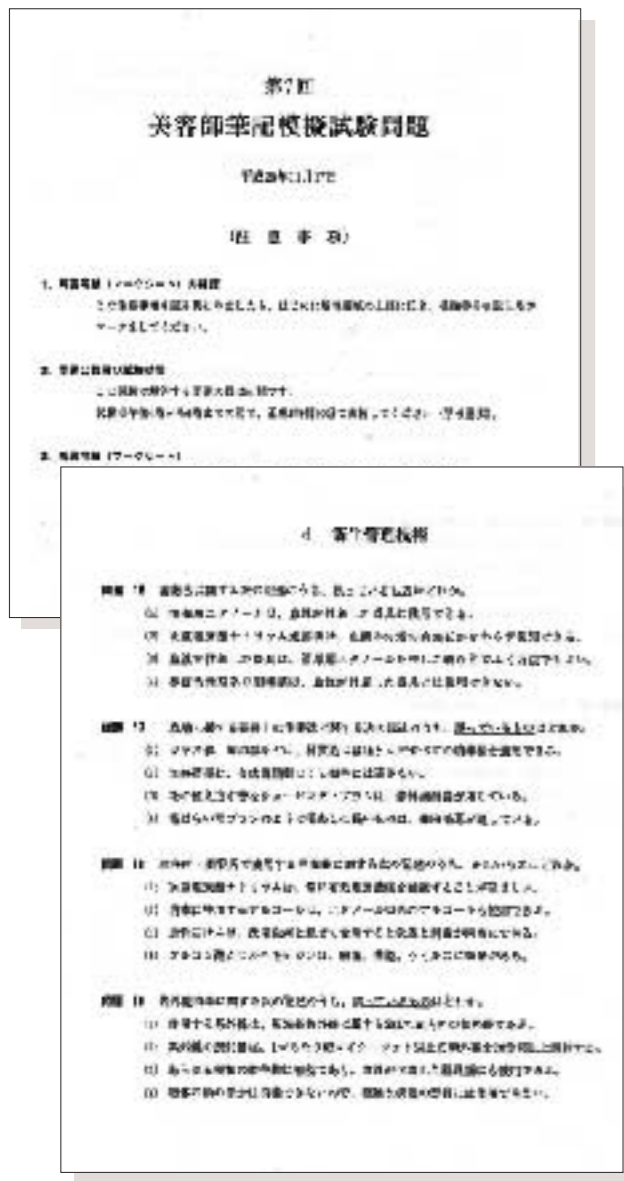
理・美容師の学科試験と全国模擬試験

学科試験は学校で使用する教科書の範囲から出題されていますので、日頃の授業をきちんと聞き、学内試験の勉強をすることが第一ですが、当連盟の実施する全国模擬試験を利用することで実践感覚をつかめるようにしています。現在は卒業までに国家試験に合格することが重要視されていますので、本試験とほぼ同様形式で実施される秋と冬の二回にわたる全国模擬試験を是非ご利用下さい。

今年度は問題をより本試験に則したものに全面的に改訂し、合格への対策に力を入れた内容となっております。

●お問い合わせは学連事務局まで
tel.03-5926-8971 FAX.03-5926-8970
info@gakuren.or.jp

<過去の出題形式>



第18回全国学生技術コンテスト概要

- 実施日時 平成25年10月31日(木) 午前10時30分より
- 場所 品川区立総合区民会館「きゅりあん」(東京都品川区東大井5-18-1)
- 競技科目
 - ワインディング1年生の部
 - ワインディング2年生の部
 - ヘアカットの部
 - アップスタイルの部
 - ヘアデッサンの部
 - ネイルアートデザインの部

別に「ネイルアートミュージアム」を開催します。



「ネイルアートミュージアム」作品展示

- 表彰
 - 優勝 文部科学大臣賞
 - 準優勝 学連理事長賞
 - 3位 全専各会長賞

●詳しくは学校へのご案内または、ホームページをご覧ください
<http://gakuren.or.jp/>

『全国学生技術コンテストスケジュール』

- 3月末～4月上旬 コンテスト委員選考案内
- 4月上旬 第1回コンテスト委員会
- 5月下旬～6月上旬 コンテスト競技規定・参加希望者アンケート発送
第2回コンテスト委員会
- 6月下旬 ネイルアートデザイン教材発送開始
- 7月上旬 『ネイルアートミュージアム』タイトル告知
(今年度は『Festival』フェスティバル)
- 9月上旬 第3回コンテスト委員会
最終エントリー確認
- 9月中旬 『ネイルアートミュージアム』エントリー確認
ネイルチップケース発送
- 9月下旬 コンテストエントリー締切
- 10月上旬 『ネイルアートミュージアム』作品返送
- 10月中旬 第4回コンテスト委員会 (最終確認)
『ネイルアートミュージアム』作品審査
- コンテスト当日
- 11月上旬 審査内容発送
- コンテスト反省会(次年度の概括的方針の決定)

理容・美容教育界の高い評価を受ける全国大会 全国学生技術コンテスト

全国学生技術コンテストは、社団法人 全国理容美容学校連盟が主催するメイン行事のひとつです。全国の理美容学校の生徒が参加するコンテストとして広く知られ、理美容の学生の技術レベル向上につながる大会として理容・美容教育界の高い評価を受けています。これまでに出場、入賞された卒業生の皆様からも、「貴重な体験になった」「自信が持てた」等、将来へのステップとしてとても意義深い大会であったという感想が寄せられています。



第17回 全国学生技術コンテスト 文部科学大臣賞受賞作品



ワインディング 1年生の部
新田 実咲
ハリウッドビューティ専門学校



ワインディング 2年生の部
阿部 純子
北海道美容専門学校



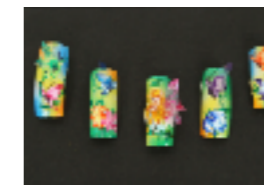
カットの部
三浦 葉奈
日本美容専門学校



アップスタイルの部
木村 友哉
国際文化理容美容専門学校
国分寺校



ヘア・デッサンの部
村上 夏美
盛岡ヘアメイク専門学校



ネイルアートデザインの部
(学連理事長賞)
大草 由莉恵
長野理容美容専門学校



表彰式

審査については、型にはまったものではなく、学生のみずみずしい感性を受け止め、参加学生が学連のコンテストに参加できて良かったと実感できるもの作り上げて行く事が、今年の実行委員長としての務めだと考えます。

コンテストの実績を17回と積み上げてきたことで、学連のコンテストの良さが周知されるようになってきたとは思いますが、より発展を遂げるためには加盟校の先生方の更なるご協力を賜りたく、この紙面を借りてお願い申し上げます。

学連のコンテストは、現場の教員がコンテスト委員会を運営し、当日も参加校の教員が実行委員としてコンテストの運営にあたっていることが大きな特徴です。

審査については、型にはまったものではなく、学生のみずみずしい感性を受け止め、参加学生が学連のコンテストに参加できて良かったと実感できるもの作り上げて行く事が、今年の実行委員長としての務めだと考えます。

コンテストの実績を17回と積み上げてきたことで、学連のコンテストの良さが周知されるようになってきたとは思いますが、より発展を遂げるためには加盟校の先生方の更なるご協力を賜りたく、この紙面を借りてお願い申し上げます。

学連のコンテストは、現場の教員がコンテスト委員会を運営し、当日も参加校の教員が実行委員としてコンテストの運営にあたっていることが大きな特徴です。



第18回コンテスト実行委員長
日本美容専門学校
星 一磨

『第18回コンテストに向けて』

第18回全国学生技術コンテストが今年も品川区「きゅりあん」で10月31日に開催されます。

4月23日の第一回コンテスト委員会と、6月6日の第二回コンテスト委員会においてコンテストの方針が決定づけられました。首都圏の加盟校を中心にコンテスト委員の先生方にはお忙しい中ご足労を頂きありがとうございます。